



仙台・宮城元気ニュース

令和5年度第1号(通算第80号)
令和5年4月28日発行-隔月発行-
【発行】宮城県仙台地方振興事務所

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

地
振

宮城のユニークな職業の「裏側」を知るイベントを開催しました
【地方振興部】 2

地
振

Native of MIYAKURO～Nine marché～が開催されました
【地方振興部】 2

農
振

「2023年度GRAイチゴ営農研修入学式」が開催されました
【農業振興部（亘理農業改良普及センター）】 3

農
振

「水稻乾田直播栽培勉強会」で活発な意見交換が行われました
【農業振興部（仙台農業改良普及センター）】 3

水
漁

閑上漁港の陸間が供用開始しました
【水産漁港部】 4

農
整

山元東部地区権利者会議を開催しました
【農業農村整備部】 4

仙台地域のこの時期おすすめの
観光スポット 金蛇水神社（岩沼市）



金蛇水神社（岩沼市）花まつり（5月3日～5月13日）、例大祭（5月15日～5月21日）

宮城のユニークな職業の「裏側」を知るイベントを開催しました▶地方振興部



楽天野球団、epi&company、仙台国際空港に協力いただき、知ってそうで実はよく知らない!?宮城のユニークな職業の「裏側」を知るイベントを開催しました。

地方振興部では、女子大学生の県内就職促進に取り組んでおり、このイベントは、大学生の興味関心を惹く仕事の紹介、職場見学を開催し、県内就職の魅力を知ってもらうことを目的としています。

イベントは2部構成で、2月3日から3月28日までの期間で実施しました。第1部では、楽天野球団、epi&company、仙台国際空港で働いている社会人から仕事のやりがいや地域で働く魅力など、パネルディスカッション形式で、トークイベントを開催しました。第2部では、楽天野球団、epi&company、仙台国際空港で実際に働いている様子や職場を見学させていただきました。楽天野球団では球団スタッフの執務室や普段は入ることができない球団の特別室の見学、epi&companyではファッションショーの裏側の見学、仙台国際空港では立入制限区域内での航空機発着業務や保安検査場の業務の見学が行われました。

参加学生は普段は見るることができない場所を見学し、様々な職業の話に耳を傾ける、楽しみながら仕事への理解を深めていました。

当事務所では、引き続き女子大学生の県内で働くことについての選択肢を提案する取組を進めていきます。



トークイベントの様子



楽天野球団の見学

Native of MIYAKURO~Nine marché~が開催されました▶地方振興部



3月4日・5日に、宮城黒川地域地場産業振興協議会は、宮城黒川地域9市町村（※）の地場産品を一同に集めて、毎年開催している物産展「Native of MIYAKURO~Nine marché~（ネイティブ オブ ミヤクロ ~ナイン マルシェ~）」をイオンモール新利府で開催しました。

宮城黒川地域で生産されたお米やパプリカをはじめとする農産物や、わかめ、昆布、海苔などの海産物、りんごジュースや焼き肉のタレなど、当地域内の豊富な資源から生まれた地場産品が販売されました。

当事務所では、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台部会としてブースを設置し、各店舗でお買い物された方に、むすび丸グッズをプレゼントするキャンペーンや、仙台・松島エリア観光ガイドブック「#せんだいWOW!な旅」を配布し、当地域の観光PRを行いました。

当日は、むすび丸や当地域内のゆるキャラがステージに登場して地場産品の魅力をPRし、物産展は盛会に開催されました。

※塩竈市、多賀城市、富谷市、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村



物産展の様子



利府町観光イメージキャラクター「リーフちゃん」による町の魅力PR

「2023年度GRAイチゴ営農研修入学式」が開催されました ▶ 農業振興部（亶理農業改良普及センター）



4月4日に山元町内で「ミガキイチゴ」ブランドを展開する株式会社GRAの「GRAイチゴ営農研修（GRAイチゴアカデミー）入学式」が開催されました。

今年度の研修生は過去最多の県内外出身となる9人で、今後2年間の研修修了後は山元町をはじめ、近隣市町、出身県に戻り独立自営就農を目指します。

入学式では、代表取締役の岩佐大輝氏より、「会社で取り組むいちごの生産技術や、人と人とのコミュニケーションの大切さを学んでほしい。」と研修生に対する熱い期待が伝えられました。また、来賓として出席された橋元伸一山元町長からは、「町と一緒にいちごの生産振興に寄与されることを期待する。」と力強いエールが送られました。

その後、研修生全員から「いちご生産を通して農業や地域振興に助力したい。」などの決意表明がありました。

平成28年度から始まった同社の研修事業は、今年で8期目となり、研修を修了した9人（8経営体）が山元町内で就農し、「MIGAKIファーマー」としていちごの栽培を行っています。

普及センターでは、法人や町と連携しながら、円滑な就農と経営安定に向けた支援を行ってまいります。



入学式の様子

「水稲乾田直播栽培勉強会」で活発な意見交換が行われました。 ▶ 農業振興部（仙台農業改良普及センター）



仙台農業改良普及センターでは、令和4年度から「水稲乾田直播栽培の技術定着による収量向上」をプロジェクト課題に位置付け、「水稲乾田直播栽培勉強会」を開催してきました。令和5年3月14日には、「春先のほ場準備～種子の準備」をテーマに7回目の勉強会を開催し、管内の農業者やJA等関係者を含めて17名が参加しました。

今回の勉強会では、普及センターから、春先のほ場準備と種子の準備について説明を行った後、土質の異なるほ場2か所を回り、現地検討を行いました。参加者の中には、令和5年から乾田直播栽培を始める方も多く、ほ場に合わせた機械の設定や作業の流れの確認等、具体的な質問が飛び交いました。作業が本格的に始まったタイミングでの意見交換となったため、実際に作業を経験して感じた疑問を解決する場となり、今後の栽培の参考になったようでした。

普及センターでは、今後も水稲乾田直播栽培の技術定着を支援してまいります。



現地検討の様子

関上漁港の陸閘が供用開始しました ▶ 水産漁港部

りっこう

震災復興事業で整備を進めていた関上漁港フィッシャリーナ地区の陸閘完成及び供用開始にあたり、関係機関に対する操作説明会を3月9日に実施しました。

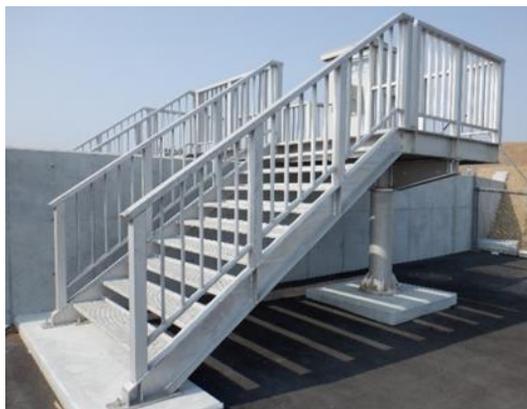
名取市、名取市消防本部、フィッシャリーナ施設指定管理者、県漁協仙南支所を対象に陸閘の自動閉鎖操作、避難退出路の説明を行いました。

その後、3月22日から同23日までの間に陸閘遠隔設備工事と陸閘本体工事の完成検査が行われ、3月24日から供用を開始しました。

本地区の陸閘完成に伴い当事務所において、復旧・復興事業で計画した陸閘43基と、水門施設2基、合計45基の全ての整備が完了するとともに、令和5年3月末で仙台管内の漁港に関する全ての復旧・復興事業が完了しました。



陸閘操作説明の様子



避難階段

山元東部地区権利者会議を開催しました ▶ 農業農村整備部

3月17日、山元町中央公民館大ホールにおいて、山元東部地区の権利者会議を開催しました。

農地整備事業においては、工事前の土地（従前地）の区画を新しい土地（換地）の区画に再編し、より効率的な営農を目指しています。従前地がどのような換地になるかを定めたものを換地計画といい、権利者会議では、換地計画を議決します。土地の所有者をはじめ、土地の使用・収益を目的とする権利を持つ方々等、権利者の3分の2以上が出席し、その出席者の3分の2以上の賛成により議決されます。

今回の権利者会議では、地区面積612.9haの権利者1,134名のうち、書面議決を含めた974名が出席し、議長を除く960名の賛成により換地計画が可決されました。

今後は、標準区画1haに整備された換地において、大規模な営農が実施されることとなります。

山元東部地区は、地区内の農地面積417haのうち、畑地が267haと広大な面積を有しており、管内における震災関連事業地区と異なり、特色のある換地計画となっています。今後、この特色を活かし、山元町ならではの営農を継続することを期待するものです。

これまで当事務所では、東日本大震災で被害を受けた仙台管内の農地の農地整備事業を実施してきたところですが、山元東部地区の権利者会議の開催をもって、震災復興関連事業に係る管内全ての地区の権利者会議が完了しました。



山元東部地区権利者会議の様子